

～松山の思い 届けたい～

ふるさと 松山便

「ふるさと松山便」では、
四国・松山の旬な情報をお
届けするとともに、皆さん
の交流の場として、その
他様々な情報を発信して
いきます。

11月号 Vol.15

10月の動き

伊予鉄道が、市内の観光史跡を巡るマドンナバスを毎日運行（1日）

松山で最期を迎えた俳人 種田山頭火が旧高浜港で詠んだ句碑が高浜町1丁目に建立（1日）

松山市の秋祭り「松山地方祭」が開催（5～7日）

「坂の上の雲」公式3商品、えひめいりに、スポーツタオルマフラー、タオルハンカチの商品化が許諾（14日）

道後温泉旅館協同組合が道後の湯を100%使用した化粧水「マドンナミスト」を発売（17日）



側面にドラマの出演者がラッピングされた機体



記念式典においてドラマ「坂の上の雲」について熱く語る西村プロデューサー

—今月の表紙— 「坂の上の雲」ラッピングジェットが就航

11月29日からNHKで放送されるスペシャルドラマ『坂の上の雲』を前に、10月22日、出演者の写真を機体の左右にあしらった「ラッピングジェット」の第1便が羽田空港から松山空港に向けて出発しました。このラッピング機は観光PRのため全日空がデザインしたもので、1年間、全国を飛び回る予定です。

市政スポット

道後温泉付近など公共の場 歩きタバコを禁止-条例案が可決され12月から施行（5日）

松山市長が台湾を訪問し、松山空港と台北市の松山空港を結ぶチャーター便の就航を要請（13日）

日本銀行松山支店調 スペシャルドラマ「坂の上の雲」の経済波及効果 150億円（16日）

松山市の瀬戸風バンク(松山競輪場)に中四国で初のナイター照明設備が完成（20日）

「坂の上の雲」で松山市が旅行商品を企画（23日）

※太文字は次頁に詳細



—カメラ・アイ—

ゆかりの松山発展願い「松山愛郷会」開催

10月15日、「松山愛郷会 総会及び懇親会」がグランドプリンスホテル 赤坂で開催され、松山市にゆかりのある270人が交流を深めました。



挨拶する生田正治会長

本会は今年で20周年という節目の年を迎えました。ふるさと松山を離れ東京に在住する同郷人同士、知恵と心を寄せ合い、今後もふるさと松山の発展のために精一杯努力してまいります。

いよいよスペシャルドラマ「坂の上の雲」が全国放送されます。まさに千載一遇の大きなチャンスであり、この機会を最大限に活かし「坂の上の雲」の舞台である松山へ来ていただきますよう、是非みなさんにお力をお貸しいただきたいと思っております。



中村市長（名誉会長）



ふるさととの話題で自然と会話が弾みます



カメラに向かって「ハイ・チーズ」



「まつやま農水ブランド」PRコーナー



「まつやま農林ブランド」を使った料理に舌鼓



「ええ 景品 当たったぞー」



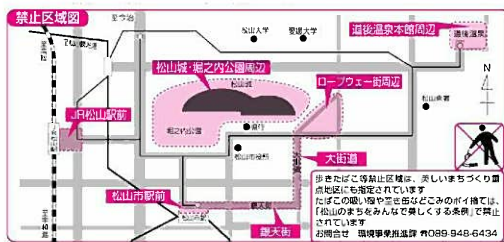
「坂の上の雲」PRコーナー

同郷の仲間組織する「松山愛郷会」の入会申込みは事務局（東京事務所内）03-3262-0974 まで

お知らせ・市政スポットから

12月から松山市の公共の場 歩きたばこ禁止

松山市の「歩きたばこ等防止条例」が12月から施行されることになりました。これに伴い松山城や道後温泉など市内7カ所が禁止区域に指定され、区域では、指定された場所を除き、歩きたばこ等の行為が禁止になります。



問い合わせ

市民参画まちづくり課 089-948-6330

「坂の上の雲」で松山市が旅行商品を企画

NHKドラマ「坂の上の雲」の放送により、舞台となる松山市の注目度が高まることから、より多くの集客・経済効果を目指していくため、松山市が独自に旅行商品を企画し、旅行会社へのPRに力を入れています。10月より新たに売り込んだ商品は「明治はいから皿館バック」で、松山城、坂の上の雲ミュージアム、子規記念博物館の3施設をまとめて割引するものです。



問い合わせ

観光産業振興課 089-948-6558

お問い合わせ

松山市 東京事務所

〒102-0093 東京都千代田区平河町二丁目4-1 日本都市センター会館11階

TEL 03-3262-0974 E-mail: tokyo@city.matsuyama.ehime.jp